

ドリームキャッチャー Dream Catcher

☆ダイジェスト版「希望会チャット」第 11 回(2011 年 7 月 31 日)☆ (氏名は希望会ハンドルネーム)

【お盆を迎える東北】

とび : この度は、皆さんにご心配をお掛けして申し訳ございませんでした。ようやく落ち着いてきました。
しんきち : ご無事で何よりでした。青森のねふたもそろそろですし。(この初盆は)鎮魂一色になる感じがすねえ。
とび : 石巻でも本当は今日から3日間、川開きってお祭りが始まるんですけど、今年は灯籠流しと打ち上げ花火を少々やるくらいみたいです。あ！デズニーパレードもやるって言ってたな～。ミッキーとか来ると喜んでたヘルパーさんがいました。
千枝 : 子供達とか喜ぶでしょうね。それ以上に大人が喜ぶかな(笑)
とび : 周りが倒壊寸前の場所なんでどうでしょうね？
しんきち : それはある意味豪快か？
kana : 楽しみは必要ですよ…どんな状況でも。



とび : 石巻の中心部の商店街でパレードなので…。開いている店も少ないし、電気もまだみたいです…。今は少しでも笑えればって感じてやるみたいです。
しんきち : 神戸祭りも 5 月は延期でしたが秋には開催しましたから。市役所前のパレードとか。縮んでしまった気持ちも少しでも柔らかくなればということですね。
とび : ですよ。起こったことは起こったことで、これから生きていく人にとっては落ち込んでばかりもいられないですからね。でも今回の震災に限らず、やっぱり障害者は何事も後回しでしたね。
ミユラー : どうしても人数多いほうからになりますね…。
千枝 : 避難所の様子がテレビで流れても、車椅子のいない一っと思いました。



【電源確保について】

千枝 : エレベーターが止まるのは困りますよね。やっぱり電気の問題を強く感じました(;><)
とび : ですね～。避難した病院もやっぱりエレベーター使えず、一人ずつタンカで上げてもらいました。
えび一た : 電気に頼りすぎているんだよね、現代人は。タンカであげてもらって、避難に間に合っただけです。そういえば、私が別団体で関わってる「呼ネット」。停電時の非常用電源確保依頼を国と東京都に要望していますが、家族の会にも連名でご協力いただき、ありがとうございます。東京都は、無事に、人工呼吸器使用者に対して、外部バッテリーや充電式吸引機を配布していただけることになりました。国はなかなか動かないですけどね。
ミユラー : 動かないというか…思いつかないんでしょうね
えび一た : 直接会って話をしているのですが、理解度が低いんです。まずはお金がかかるから…みたいなスタンスで。東京都は 2 億円の補正予算を組んだんですけどね。国民を守ろうという意識がとても低い。被災地への対応を見ても、分かるでしょ？
しんきち : リアルタイムで起きている新潟・福島集中豪雨について、記者会見で総理は一言も触れないですねえ。
えび一た : 集中豪雨でも、停電は起こりえますからね。私の周りでは、呼吸器使用者への対応が大変で、特殊な車いす業者さんが、電動車いすのバッテリーから電源を取れるように、無料で急遽改造してくれたりしましたよ。助かったなあ。インバーターを取り付けて、コンセント口を設置したんです。最悪、アンビューで対応できても、吸引はどうにもなりませんからね。
しんきち : 車とか電動車いすのバッテリーからの延長コードとかでの緊急対応は必要だと思いますね。
千枝 : 私は、今の電動車いすを作るときに、バッテリーから電源をとれるようにしてもらいました。
えび一た : 最初からそうしてもらうなんて、すごいねー。
千枝 : 呼吸器メーカーには秘密ね、って言われてます(笑)
えび一た : 呼吸器メーカーだって、自分達が無力なことは分かっていますから、知っても何も言えないですよ(笑)
しんきち : そういう裏技は内々に広めておくといいかも…。蓄電機能の代用になりそうな電気自動車は活用の可能性があります。
えび一た : 確かに電気自動車は活用できるかも！自動車用のバッテリーは、呼吸器用には適さないんですけど。少ない電力を長時間提供する用途じゃないって。電動車いすのバッテリーがいいらしいですよ。やっぱり、蓄電のために、電動車いす用のバッテリーと、正弦波の出るインバーターと、発電機があれば、どうにかなるみたい。



【手の筋力】

千 枝：最近、手の筋力が落ち気味なのですが、みなさんはリハビリとかされますか？

Kana：私も筋力の衰えはひしひしと。使いすぎという節もあるんですが。最近ペンが持ちにくくて焦ってます。

と び：同じですよ。

ミユラー：リハビリするとCK値が跳ねあがって、禁止になりました。文字はすっかりキーボードですねえ。

千 枝：私も字が書きにくくなってしまって。動かさないと落ちるのかなあ。

しんきち：筋肉を痛めるほど動かすのはだめだろうけど

Kana：もう気合いしかない。3日くらいPCをつかわなければマシなんですけど。手首動かすと痛かったり、急にカクンと力抜けて、お茶こぼしそうになります。ジツとしてるのもダメだろうし。加減が難しい。

千 枝：痛いのはつらいですね。私は指がもう伸びにくいので、何をするにも不便です。

と び：最近・・・取っ手付きのコップじゃないと飲めなくなってきました(泣)

Kana：テレビのリモコン、重くないですか？地デジになったら、やたらボタン増えてる。

千 枝：重いです、重いです、ボタンもかたくて押せません～

ミユラー：テーブルに置いて上から押してます><

Kana：以前のリモコンよりボタンの感じが堅いし、角度がちよとずれると反応しないし。

ミユラー：ああ角度厳しいですね。

前のだと、反対向いててもいけたのに。

千 枝：そうそう。押しにくくなりましたよね

Kana：レコーダーまで操作できるのは助かりますが、かなり気合いがいる。体調悪いと押せません。

ミユラー：携帯で操作してる人いましたよ。

千 枝：わたしも携帯で操作します！

Kana：携帯で電源のオン・オフはできるけど、それ以外はできないのよね・・・前のテレビはできたんだけど。

しんきち：パソコンについて録画再生する機器を使っています。HDDがすぐいっぱいになるのを回避できて便利。ビデオでなくてパソコンに録画して再生する機器です。



♪♪ つながり広がる ♪♪

兵庫県 長谷川幸子

私は家族の会で広報を担当させていただいています。先日、会報の打ち合わせで、「そういえば、去年の作品展。どうして地元から遠く離れて？」とのご質問が。私はビーズアクセサリー作りに携わっているのですが、兵庫県在住なので、島根県でというのは確かに不思議かと。「縁あって応援して下さる方がいらっしやいまして。ご厚意で作品展を催して下さったんです。」と返答。「じゃあ、そこを Dream Chacher に寄稿して！」との流れに。しまった、遅筆なのに会報&Dream Chacher 作りに寄稿が加わってしまった・・・。

ビーズアクセサリー作りを始めて十数年。年々筋力は落ち、作品を作るペースも落ちてきていますが、作品作りを介してあたたかい交流が持てたり、喜んでいただけた時の嬉しさが原動力となって日々を制作に注いでいます。そして、続けられている一番の理由はやはり、支えて下さる方々がいらして下さること。これをなくしてはなりません。

島根県益田市で「ボンヌ・マン・ノブ」という海辺のレストランをされているシェフと奥様もそんな方々のおひとり。3年前、岡山県赤磐市で作品展を催していただいた時、企画運営くださった女性とご夫妻が親しく、作品展の話を知ったご夫妻が、何か応援したいと作品展の会場へ昼食を送って下さいました。そして、ぜひ益田でも作品展を！とお声かけくださり、レストランでの作品展が実現しました。

準備から宣伝、お店を貸し切り作品展用にセッティング。お店のスタッフさんやご友人までお手伝い下さり、初めての場所だというのに多くの方々に作品を観覧いただけました。そして、足を運んでくださったお客様へ皆さんが心尽くしのおもてなしをして下さいました。

皆さんにこんなにさせていただいて。終了後にシェフと話していた際に、受けたご厚意の大きさにどう恩返し出来るの正直わからない・・・と伝えたところ、シェフは「恩は返そうとするより、次に送ってあげればいんですよ」とお話し下さいました。今までお世話になった方々へもビーズワークを続けることで感謝の気持ちが表せたらと制作に努めてもきましたが、「次へ送る」という表現はとても印象に残りました。

実は私がこの会で役員をさせていただくことになったのは、赤磐での作品がきっかけだったりします。作品展後、家族会のメールで人手不足のためお手伝いを募集しているスママガを数回目にしました。普段なら出来るだけ創作に時間を確保したいのでスルーするところ。ですが、仕事をお持ちでご多用な皆さんが距離も時間も関係なくお力添えくださったことあの時のことを思うと、感謝の気持ちを表すためとはいえ、創作するばかりも違うかもしれない。そう思いました。そして、「簡単なパソコン作業だけでもお手伝いになるなら・・・」と事務局へメールしました。役員未経験の私はあまりお役に立てていないようにも思えますが、先輩役員の方々にフォローをいただき、教えていただいた分は働かないとと、続く人手不足もあり、微力ではありますが留任して3年目を迎えています。

誰かのためになればという気持ちで行動したことは、また自分にも返り広がることを知りました。役員になったからこそこの出会いや経験は私の狭い世界の幅もまた広げてくれました。会報でもそういった出会いや繋がりが広がれば願っています。そんな思いから不得手ながら寄稿も引き受けました。あたたかい思いが伝わる。つながる。送る。そんな会報が今期お届け出来ますように。



美味しいお料理とあたたかいおもてなしのお店。海辺のレストラン「ボンヌ・マン・ノブ」さん。

☆ダイジェスト版「希望会チャット」第 12 回(2012 年 2 月 26 日)☆ (氏名は希望会ハンドルネーム)

【風邪引きから】

えびーた: (風邪の)ひき始めには葛根湯を愛用しています。
富山の薬売りのね。
kana: 葛根湯は肩こりの時に飲んでます。私はひき始めは
麻黄ブシ細辛湯を飲みます。一発で復活します。
えびーた: 最近、小さい湯たんぽ買ったんですよ☆
硬いケースじゃなくて、柔らかいやつ。
電気で充電する湯たんぽは持っていたのですが、
震災時は電気がないぞと思って。アナログなのを買
いました。結構暖かいんですね。湯たんぽ。
と び: 確かに湯たんぽは良かったですよ。
石油ストーブでお湯沸かして入れてました。
えびーた: 火は、作れますからね☆
と び: ですね。震災時は湯たんぽも品切れで…。
うちではペットボトルにお湯入れて代用してました。
えびーた: それでも結構いいみたいですね。
と び: ペットボトルだと冷めるのも早いんですよ。
でも布団が温まればいいですからね。

えびーた: 冷たい布団は眠れない…。
自分の体温吸い取られて終わりですね…。
と び: そうですね。もう震災は懲り懲りです
kana: 電気があれば、ドライヤー使うのが即効性があつて
お薦めです。朝、手がかじかんで仕事できない時
に、2~3分、服の上からかけると、すぐ温まるし。
えびーた: 確かに、即効性あるみたいですね、ドライヤー☆
と び: やっぱ電気がないとなんにもできないですからね。
えびーた: なんにでも使える蓄電器があつたらいいんだけど。
あるにはあるんですけど 50 万とかするんですよ。
と び: うちではソーラー発電真剣に考えています。
えびーた: 梅雨の時期とかどれくらい溜まるんでしょう?
ミュラー: 効率はかなりよくなってるみたいですね。曇りの日でも
発電できる風車立てるわけにもいかないしね(笑)
と び: それなんですよ。夏場だったら冷房関係なくても
生活できますが…冬だったら暖房だけでもって。
発電機は用意しました。どこまでもつものなか。
えびーた: 発電機、ガソリンないと動かないしね…。

【総合福祉法関係】

えびーた: 総合福祉法関係、ご存知です? 障害者自立支援法って、もうすぐなくなるじゃないですか。
その支援法廃止に代わって制定されるはずだった新法ですが。
ミュラー: 24 時間介護とかのやつでしたっけ?
えびーた: 戦後初めて、国が、障害当事者をたくさん入れた検討委員会を設置して、
国連の障害者権利条約批准のレベルにあげていくために、障害者の制度、3 大改革に乗り
出していたんです。1 つめが障害者基本法の改正。去年の夏に終わりました。
2 つめが、総合福祉法の制定で、3 つめが障害者差別禁止法の制定。その検討委員会、
障害者制度改革推進会議っていうんですけど、総合福祉法を制定するにあたって、
ポイントを 60 項目提言したんです。厚労省に。
なのに、今頃になって、厚労省、「新法制定は大変だからやらない」とか言い出して。
ミュラー: 今の大臣、タバコしか言わないしね…。



えびーた: 大変な事くらい、最初から分かってたでしょ! って感じ。支援法が、障害者の人権を侵害するということで、全国で一斉に
「違憲訴訟」を起こしていたんですよ。で、国は、その訴訟に対して、「ごめんなさい、支援法を廃止して、早く新しい法律を
作ります。」っていう和解文書を出しているんです。その訴訟との和解合意にも、反することになるんですよ。
で、最終的に厚労省はどんな手に出たかという、支援法を、「生活総合支援法」とか言う名前に変えて、
「支援法を廃止して、新法を作りました」と言いやる作戦に出たんです。そんなところにばかり知恵が回るんだから!
と び: 国会議員はホント信用できません。お偉いさんのやりそうな手段ですね。
えびーた: 障害者も高齢になったら、自動的に介護保険に移行するじゃないですか。そうすると使えるサービスが一気に減って、生活が
不便になりますよね。そういうことについても総合支援法の提言に盛り込んでいたし、勿論 24 時間の保障をどうやったらあまり
予算を割かず実現できるかとか、長時間見守りをどうするかとか…すごくいい提言書だったのに、無視ですよ、ほぼ。
ミュラー: 24 時間に関しては、対応できる事業所が無いって手を上げた地域は僅かですしね。
えびーた: サービスの在り方がどうこうという事ではなくて、障害者と障害のない人との平等を
どう実現していくか、という法律になったはずなんです。
と び: やれないんだったら初めから言わなきゃいいのに…票取りのために…
えびーた: マニフェスト違反ですから。



【東北…その後】

しんきち: 飛川さん、その後あたりはおちつきましたかね？

とび: なんも進んでないですね～

しんきち: がれきの処理が数パーセントとか聞こえてきてますからねえ。

とび: 一番多い地区ですから。放射線どうのこうのって言われて処理してくれるところがなくて進んでいません。

えび一た: がれきの処理についてだって、結局、日本政府の言う事が信用できないから進まないんですよ。放射線量が大丈夫だ、とか言われても、正直信じられませんから…。小さい子どもがいる家庭なんて、敏感になりますよね…。

とび: 「絆」って言うわりには…って感じです。

えび一た: 原発事故の後もう少し政府の対応や言動が信用度高いものだったら、協力しよう、という気持ちにもなると思うんですよね。

しんきち: 岩手と宮城のがれきは、もっと処理できるはずがねえ。絆っていうからには、みんなで渡れば怖くない…でえいやで進めないと復興にはなりません。いつまでたってもマスゴミと某国営テレビ局の大本営発表垂れ流し体質は変わらなかつたしねえ。

とび: TVは良いとこ撮りで本当の現状は全くですからね。

えび一た: マスゴミと、金融機関と、政府の癒着って、相当ひどいらしいですよ。「脱原発」って言った瞬間、菅さん下ろされたし。

ミユラー: 総理大臣は直接選挙にすべきですよ…

えび一た: 直接選挙、賛成☆

ミユラー: 誰？この人？みたいな総理や大臣はねw

えび一た: あとは、例えば、投票率が50%切ったら、無効にするべきです。

とび: よっぽど長渕が復興大臣やってもらって歌ってもらっていた方が励みになりますwww

えび一た: あはは☆歌える首相☆

【札幌へ】

ミユラー: (kanaさんが)札幌雪まつりに来てくれたんで、一緒に観光したんですよ^^

えび一た: kanaさん、冬の札幌に！？寒そうですが、雪祭りは一度行ってみたいんですよえ…。

ミユラー: お待ちしております(笑)

えび一た: 防寒対策とか、どうされるんです？

kana: ヒートテックインナーの2枚重ねの上に持っているウールのタートルセーターのうち一番暖かいのを着て、着たら着ぐるみみたいになる分厚いダウンジャケット。ファーのマフラー、手袋、帽子、ファー付きブーツ、ダウンの上からもかけられるポンチョ。あとはカイロと、ボランティア団体が貸してくれた『ぬくぬく』。

えび一た: うあ…………。

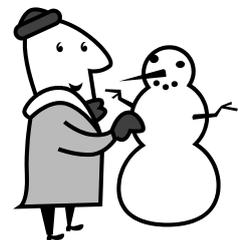
kanaさんが見えないんじゃないかなあ、もはや…。

kana: 私がいる間は比較的天気もよく暖かかったので、恵まれましたが、ミユラーさんは大変だったんだよね。

ミユラー: kanaさんに会う道は険しかったです(^-^); 吹雪で11時間列車が停まってしまって(笑)



その体験を
ご寄稿いただきました。



北海道 小澄健一

旅先でのトラブル

毎年一人で、さっぽろ雪まつりに会場ボランティアを利用して遊びに行っています。しかし今年は札幌行きの列車が吹雪のため旭川で停車してしましまして…その体験談を報告します。

今年は、2月7日に京都から役員の藤原さんが雪まつりに来ると言うので、色々計画を立てていました。札幌駅で落ち合う予定でしたが、途中、吹雪のため最初は4時間遅れるというJRからの説明でした。藤原さんとボランティアに連絡をとって遅れると伝えたんですが、JRの報告があるたびに2時間ずつ後ろにずれていくという状況。

出発駅に戻る選択肢もあったのですが、最初の復旧時間より前に最終列車が出てしまい戻れない…車掌さんが、列車の中では厳しいので旭川駅の待合室まで連れていってくれました。2～3時間おきに安否確認をしてくれたのですが、列車の変更があるたびに、切符の払い戻しのため人の出入りが多く、外気が入ってきて体が冷えまくるは、売店も早々に閉まり食べ物も朝食の残りのオニギリが2個、電動車椅子で来なかったため移動もできず…かくなる上は、一緒に待ってる人たちに助けてもらうしかない!!!パンをもらってお礼に使い捨てカイロを渡したり、移動や駅員さんをお呼びできたもったりしました。ボランティアさんは夜8時までしか無理なので、介護タクシーを予約、連絡するたびに遅くなるので、軽くブチ切れモード(泣) 駅員さんにトイレ介助を頼むと顔に「えっ？ぼくが??」の文字が浮かび上がる(爆)なりふり構わずでした。結局到着予定時間から12時間遅れての深夜3時に宿泊先に到着。

次の日、藤原さんに会えたのと、ボランティアさんから「吹雪で来られなくなって、会えないのは凄く寂しい、良く来てくれたね。」の言葉に癒されました。

最近ニュースで、動物園からペンギンが逃げ出し、海から戻ってきた時には筋肉がついてたくましくなっていたとありましたが、彼?に空を飛べる翼があればそうはならなかったと思います。

自分は、25でSMAを発症し介助がなければ外出が出来ない体になったけど、このペンギンのように少しはたくましくなれたかもしれません。

